

こころをひらき みらいをひらく

＜家庭、地域、学校が一体となって、
子どもたちの未来を育もう＞

床屋さんに出かけた時のお話。その日は、かなり混んでいました。午後の分まで予約がいっぱいでした。私は早めに予約をとっていたので、無事に終えることができました。

私は、理容師さんに聞いてみました。(迷惑だったことでしょう)

私「どうして、この職業についてのですか。」

理「子どもの頃から好きでした。弟の髪を切って、結局、
弟が床屋さんに行くことになってしまったことがある。」

私「やめたいと思ったことはありませんでしたか。」

理「それは、ありますよ。職業をかえたこともありますよ。でも、結局はこの仕事
に戻りました。」

私「どうして、戻ってきたと思いますか。」

理「やはり、好きだったからかなあ。私には、これしかなかったと思います。」



仕事には、その人の人生が見え隠れするような気がします。誰しものが経験する、大きな波。その波を乗り越えることができたのは、自身の強い心でしょうか、誰かの支えがあったからでしょうか。

先号(6/27版)でも述べましたが、身近な大人が一番のキャリア教育の先生です。夏休みは、親戚の方々など、たくさんの大人にお会いする機会があります。ぜひお子さんに、そのような機会をプッシュ、プッシュ。

この号では、ご家庭で進めてほしい5点の中の2つめ。

② 深めたい 親子のコミュニケーション

そばにいただけでは、お互いの心の中はわかりにくいものです。

子どもが、「愛されている」と実感できるようなコミュニケーションを！

- | | | |
|---------------------------|-----------------------------|------------------------------|
| ① 話は、顔を見ながら最後まで聞いている。 | <input type="checkbox"/> はい | <input type="checkbox"/> いいえ |
| ② 愛情をもって本気で叱ったり、ほめたりしている。 | <input type="checkbox"/> はい | <input type="checkbox"/> いいえ |
| ③ できるだけ家族で食事をするようにしている。 | <input type="checkbox"/> はい | <input type="checkbox"/> いいえ |
| ④ 休日などは親子でいっしょに遊ぶようにしている。 | <input type="checkbox"/> はい | <input type="checkbox"/> いいえ |
| ⑤ 学校での出来事を家族で話し合っている。 | <input type="checkbox"/> はい | <input type="checkbox"/> いいえ |



愛されていると実感すると、自身の存在価値を自覚し、自尊感情が生まれます。自尊感情が高い人は誰にも優しく接し、よいコミュニケーションを築くことができます。

文責 校長：菅原